

いいたて

令和2年1月号
No.671

1

小春日和の園庭で
までいの里のごも園

特集
新春によせて
2020年 復興のその先へ



大いなる田舎
までいライフ
いいたて

迎春

令和二年

2020

新しい年が始まります。
 今年は、2011年の震災から、3月11日で、丸9年を迎えます。一歩一歩を重ねてきた復興へのあゆみは、そこから10年目に入ります。

現在、第6次総合振興計画づくりが進められています。4月には、義務教育学校「いいたて希望の里学園」が開校します。夏には、深谷復興拠点エリアに、魅力満載の多目的交流広場がオープンします。多くの人が待ちかねるパークゴルフ場も、年内に完成する予定です。

復興のその先へ。
 課題の一つひとつに向き合いながら、村づくりは、新たなステップに向かいます。

どうか新しい年が、村にとっても、村の皆さん一人ひとりにとっても、明るい年になりますように。あたたかな人のつながりや、まideaな暮らしが、村の中にも外にも、もっともっと広がっていきますように。



道の駅でランチタイムに10食限定で販売している人気のメニュー。産地から届く「釜揚げしらす」をぜいたくにのせています。合わせて、海苔、細ネギ、たっぷりのショウガもトッピング。さわやかな美味しさに、食べ始めたら箸が止まりません。



福島県産釜揚げしらす丼
 650円(限定 1日10食)

お新香・みそ汁つきのお得なセット。ふっくら仕上げた釜揚げしらすは産直ならではの美味しさ。ごま油の香りとたっぷりのおろしショウガも食欲をそそります。

いいたて村の道の駅までい館

深谷字深谷前12-1
 ☎0244-42-1080

営業時間：午前10時～午後5時
 (3月～10月は午後6時まで)
 定休日：毎週水曜日、年末年始
 (12月31日～1月2日まで休み)
 ※公衆トイレ・併設のコンビニは無休

温泉(温泉たまご・90円)を乗せて食べるのもオススメです。



CONTENTS 目次

- 3 特集 新春によせて
- 6 新春あいさつ
- 8 トピックス 2つのステージを紹介します
- 10 飯館百景 いいたてルミナリエ
- 12 報告のページ 12月議会定例会
- 14 ほけんとふくし 百歳賀寿
- 15 ほけんとふくし 民生・児童委員
- 16 教育委員会NEWS! 校章のデザインが決定
- 18 教育のページ こども園のもちつき会 ほか
- 19 ほけんとふくし 栄養教室 ほか
- 20 いいたて便り
- 22 話題のパレット
- 23 そのころはっ ほか
- 24 おしらせのページ 12月のできごと ほか
- 25 入札結果
- 26 きてみて / ラオス通信。
- 27 こころのぼけっと / ひとのうごき
- 28 ホープス / 編集後記

「までいの里のこども園」の子ども達が、小春日和の園庭で、好きな遊びをのびのびと楽しんでいました。新しい年も笑顔いっぱい1年になりますように。



●表紙のおはなし●

義務教育学校

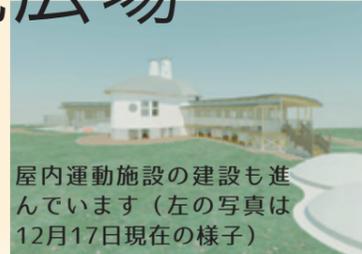
いいたて希望の里学園



4月に新しい学校が誕生します。小学校と中学校が、義務教育学校として生まれ変わり、その特性を最大限に活かして、豊かな教育を展開します。

大きな足跡を刻んできた3つの小学校と飯館中学校の閉校式は3月末に行われます。

深谷地区復興拠点エリア 多目的交流広場



屋内運動施設の建設も進んでいます（左の写真は12月17日現在の様子）

「いいたて村の道の駅までい館」に隣接する約1万2,000㎡のエリアに建設中。花の散策路や芝生の広場、ドキドキわくわくの遊び場などが緑の中に広がる、とびきり素敵な交流広場です。この夏のオープンが待ち遠しいですね。

屋内運動施設の名称募集に多数のご応募をありがとうございました。発表をお楽しみに！



パークゴルフ場

村民の要望を受けて建設される「パークゴルフ場」も造成工事が進んでいます。いよいよ今年オープンを迎える予定です。どんな施設になるのか、こちらも完成が楽しみです。

第6次総合振興計画

令和3年度から5年間の村づくりの指針となる計画です。現状の課題を乗り越えながら、新しい発想で村の未来を描いていきます。2月頃、中間報告会を開催する予定です。

中学生以上の村民の皆さんに送付したアンケートを回収中。1月10日までにご回答ください。

いいたて新春村民のつどい

1/19日

ほのぼのあつたか…笑いもいっぱい

つどいで発表する令和元年の村の10大ニュースを募集中です。1月6日までにご応募を！

大人から子どもまで楽しめる「ケチャップマヨネーズ？」のコンサート、落語のステージなどと一緒に！子ども達や「いいたてお母さんコーラス」のステージもあります。



上) ケチャップマヨネーズ？
右) 落語家・山椒家小粒

東京オリンピック・パラリンピック

聖火リレー



聖火が村を走ります。交流センター「ふれ愛館」から、「いいたて村の道の駅までい館」までの約1.2km。みんなで声援を送りましょう！リレーを盛り上げる企画も行われる予定です。

3/27金

ホストタウン・プロジェクト

村がホストタウンを務めるのは東南アジアのまでいな国・ラオス。1月にはラオスの子ども達が村の学校を訪問する予定です。オリパラに向けた交流にも期待がふくらみます。

年頭のごあいさつ



飯館村長

菅野 典雄

村民の皆さん、あけましておめでとうございます。

年号が、平成から令和に変わったこの1年、皆さんはどのような1年だったでしょうか。令和2年の年は、あの忘れられない避難生活から数えて丁度10年目の年でもあります。

あの避難生活の頃のような緊迫感は、随分落ち着いてきていますが、一方でそれ以上の多くの課題が見えてきているということでもあります。

「もう少し買い物ができる所を」「医療や介護をもう少し充実できないのか」「高齢者が多いので足の確保をしてほしい」「郵便ポストをつけてほしい」等々、課題は増えるばかりです。昨年も一歩一歩でしたが、今年もそれらの課題を一つでも進められるよう議会と相談しながら取り組んでいくつもりです。

川俣町あたりに買い物車を出したいものと考えています。いいアイデアでクリニックで院内処方が出るようになりそうです。いいアイデアももう少し入居者に入っていただけできるよう努力していきます。郵便ポストの要望など自前でできないものはこれから要望活動などを

していくつもりです。

現在、村の人口は5486人ですが、村内在住人口は1391人です。その内、他からの転入者は148人と、これまでとはまた違った村の動きも出てきつつあります。これからも少しでも住み易さをつくっていくことによって、多くの方々に住んでもらったり、行き来をしてもらいたいと考えているところです。

今年の事業として8月頃に多目的広場が完成しますので、親子連れの姿が増えるはず。また、パークゴルフ場も完成し、村民の健康づくりにもはみがかかるとのことでしょう。農業の基盤整備事業や村道の舗装工事なども続きますので、例年以上の事業の取り組みの多さになります。

一方で、行政のやることにも限界がありますので、村民の皆さんにもいろんな形でご協力いただくことが多くなるかもしれませんが、ご協力をよろしくお願いします。

今、進めている村の第6次総合振興計画の内容はこれからですが、村民と行政がどう役割分担し、かつ一緒に手を携える事業を多くつくっていくかがポイントになります。そして、その中心となる考え方は「心のシェア」であり、「お互い様」ということで、協力し合っていくことが第6次計画の柱になることでしょう。

「喜びは、分かち合うことによって倍になり、悲しみは、分かち合うことによって半分になる」という言葉があります。また、「生きていく」ということは、誰かに借りをつくること。生きてゆく」ということは、その借りを返していくこと」という言葉もあります。そのような気持ちを持ち続けて、村民の皆さんが「ふるさと」に愛着をもってもらうことが村の再生の第一歩であると思います。皆さんのふるさとである飯館村を、皆で力を合わせて「小さくとも、キラリとひかり輝く村」にしていこうではありませんか。

村民の皆さんにとって、昨年よりさらによい年でありますよう、心より念じ、新年のあいさつとさせていただきます。

までいな心を忘れずに



飯館村議会議長

菅野 新一

村民の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

お元氣にご家族お揃いで令和初のお正月をお迎えにられましたでしょうか。

帰村された方は、年々増えており25%に達したところですが、それぞれの事情により村内、県内、新たな地で生まれ、まだまだ課題を持ちながら生活を過ごされていると痛感しており、村民を代表する議会人として誠に申し訳なく思っております。

しかしながらそうした中、長泥地区特定復興再生拠点についても、居住促進ゾーンを先行的に除染を進め、今年度から3年間かけ整備し避難指示解除に向け展開されます。また、昨年も村内でいろいろなイベントが開催され、主に1月に村内外から沢山の人が集まり盛り上がった「いいたて新春村民の集い」、5月に子どもたちの元気な声が響いた「いいたてつ子運動会」、7月に夜空を彩る「はやま湖花火大会」、8月に日頃より腕を磨き楽しんだ「グラウンドゴルフ大会」& 演芸と美味しい食事の「福祉祭り」、9月に金婚式のお祝いも盛大になった「敬老会」、10月に村内最大のイベント「いいたて村文化祭」と

それぞれ盛会裏に終わり、皆さんの記憶に残っていることでしょう。

一方で、主な事業としては、総合健診などの「生命(いのち)をまもる」、移住・定住・交流・自治会同窓会など「人と人とがつながる」、深谷地区復興拠点整備、営農再開支援・畜産再開素牛導入など「までいブランドを再生する」、「子どもたちの未来をつくる」では小・中統一校を義務教育学校「いいたて希望の里学園」とし、今年4月1日の開校に向け諸準備が進んでおり、これらも村の再生に向かつて一歩ずつではありますが、着実に進んでおり、大変嬉しく思う次第です。

村づくりの基本理念である「までいライフ(MADAY LIFE E)」が掲げられ、将来像と施策のそれぞれ6つの大綱を基に、復興計画のコンセプトにもある「ネットワーク型の村づくり」を実質的に進められます。具体的な方策として、第6次総合振興計画策定委員会が、村民代表・有識者・村役場職員で組織され、昨年9月13日に発足し、令和元年度・2年度にわたり、地域別懇談会ならびに専門部会(4部会)・アンケート結果を踏まえ指針を出し、6月に計画案を取りまとめる様に検討が進められます。

我々、村議会議員各位が「までいな心を忘れずに」ONETEAMとなり、村民皆さんの声に寄り添い傾聴し、村再生と活性化に全力で、ふるさと飯館村を大切にすることを、全ての村民が豊かで安心して暮らせるように取り組む所存であります。

どうか、今年も二層のご指導、ご協力を賜り身近で頼りがいのある村議会でいられますようお願い申し上げますとともに、今年も皆さんにとって幸せ多い年でありますようお願い申し上げます。年頭のあいさつといたします。

2つのステージを紹介します



12月15日、女性コーラスグループ「いいたてお母さんコーラス」（渡邊しづえ会長／飯樋町）が、交流センター「ふれ愛館」で、活動40周年記念のクリスマス・コンサートを開きました。震災後の避難の間も変わることなく、村のイベントなどに歌声の花束を届け、歌を通して多くの人とつながりを深めてきた40年のあゆみ。あふれる思いをのせた美しいハーモニーが、会場を満たしました。

サクソ奏者でもある大森真（生涯学習課／写真右）が共演するなど多彩な演出がステージを盛り上げました。

40周年記念クリスマス・コンサート いいたてお母さんコーラス



友情出演団体や会場も一緒に「故郷」「花は咲く」を歌い上げたフィナーレ



秋田大黒舞



県内各地の団体が多彩な芸能を発表する「シルバーフェスティバル」は、11月28日、とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）の満席の大ホールで開催されました。村老人クラブ連合会の今年の演目は「秋田大黒舞」で、旧大館地区のクラブが協力して出演。美しい舞いを披露し大きな拍手をあげました。

フクシマ シルバー フェスティバル 飯舘村老人クラブ連合会

この発表会には、回り番で地域ごとに出演していただいています。皆さんの協力のおかげで、今年もいい発表になりました。
村老人クラブ連合会は、一昨年に「全国老人クラブ大会」で全国表彰を受けました。活動が充実しているのは、歴代の会長さんをはじめ先輩方のおかげです。飯舘に限らず、高齢者が地域の主役になりつつありますし、各地区のクラブのこれからの取り組みにも期待しています。人生は悔いなく、楽しく生きたいですね。



飯舘村老人クラブ連合会
会長 菅野 敬さん（関根・松塚）



福を呼び込む華やかな舞い。エンディングは大きな拍手に包まれ、観客の中には、踊り手に思わず手を合わせる人も。

飯舘 百景

いいたてルミナリエ

交流センター「ふれ愛館」と「いいたて村の道の駅までい館」が、毎夜、美しい光に彩られています。今シーズンで3回目を迎えた「いいたてルミナリエ」。飯舘村商工会などでつくる実行委員会が実施しているイルミネーションのイベントです。点灯時間は午後4時から午後9時までで、約2万5000個のLEDライトを組み合わせた美しいイルミ

ネーションが点灯しています。左の大きな写真は、道の駅のイベント広場に設置されているイルミネーション。光が流れるように点滅し、次々に色を変えていきます。ドーム型のオブジェの中には、左下の4つの写真のように、交流センター「ふれ愛館」のイルミネーション。12月7日に、点灯式が行われ、小中学生が点

灯のスイッチを入れました。「いいたてルミナリエ」は1月末までの毎夜点灯しています。また、地区や個人宅のイルミネーションも、村内のあちこちに灯されていて、通行する人の心をほっと温めています。冬の夜の光の共演、寄り道をして、ぜひ楽しんでみてください。





令和元年 第10回 飯舘村議会定例会

令和元年12月議会定例会は、12月13日から20日までの日程で開かれました。一般質問は17、18日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議案審議は20日に行われ、提出された議案は追加議案を含めて全て原案どおり可決されました。

第6次総合振興計画策定

9月13日に第1回「6次総合振興計画策定委員会」を開催し、来年9月の村議会に計画書を提案できるように今後のスケジュールなどを確認したところです。

現在、村民アンケート調査の取りまとめを行っており、まとも次第、村民にお知らせしたいと考えています。

また、計画策定にあたっては、これまでに策定委員会2回、4つの専門部会各3、4回、さらに4部会合同の先進地視察研修（会津二島町）などを実施し、それぞれ村の将来像に向けた課題の整理と具体的な事業内容などについて精力的に協議・検討をしていただいています。

令和元年度第3回行政区長会議

10月3日に、令和元年度第3回行政区長会議を開催しています。9月議会定例会及び臨時会合の議案の報告や、各課の各種施策について説明し、意見・要望等を受けています。

今議会で可決された議案など

（紙面の都合上、一部省略しています）

- 令和元年度一般会計補正予算
- 令和元年度国民健康保険特別会計補正予算
- 令和元年度簡易水道事業特別会計補正予算
- 令和元年度農業集落排水事業特別会計補正予算
- 令和元年度介護保険特別会計補正予算
- 飯舘村森林環境譲与税基金条例
- 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
- 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- 印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

村長村政報告

（紙面の都合上、一部省略しています）

台風19号の被害状況

10月11日から12日にかけて本村を襲った大型台風19号は、村内に甚大な被害をもたらしました。降雨量が346ミリ、死者1人、床上浸水2件、床下浸水3件、宅地周辺・昇口等の崩壊流出111件、大倉簡易水道施設の決壊、村道・農林道陥没決壊130か所（うち通行止め箇所5路線）、普通河川2か所、水田・畑・用排水路等219か所、農業用ハウス2棟など、被害総額は約15億円と見込んでいます。

現在、被災箇所の特定と、国の補助災害及び村単独災の振り分けを行い、農地については所有者と協議をしながら復旧に向けた取り組みを行っているところです。なお、補助災害の査定は12月中の実施を予定しています。査定終了次第、早期復旧を目指します。特に農地は、春の作付等に、できるだけ支障のないよう取り組んでいきます。

帰還困難区域における復興・再生拠点区域外に対する対策

現在、長泥地区特定復興・再生拠点区域外では、集会所、公園などの整備計画をはじめ、建物の解体、除染が進められています。農地では、除去土壌を活用した環境再生事業の試験栽培などが実施されています。

一方、拠点区域外については、今後の国の方針が具体的に示されておらず、地区内と地区外の住民に大きな格差が生じており、この格差解消が当面する重要課題となっています。

地区内と地区外の格差をできるだけ少なくするため、同じ帰還困難区域を抱える6自治体（大熊町、双葉町、富岡町、浪江町、葛尾村、飯舘村）で、昨年12月に、「原発事故による帰還困難区域を抱える町村の協議会」を設置しました。11月7日、復興庁、環境省、経産省、内閣府などに対し、特定復興再生拠点区域エリアの拡大、拠点区域外の除染家屋解体の実施など、格差解消のための要望活動を行ってきたところです。

農政関係

避難指示解除後3度目を迎えたこの秋に水田約45haで稲刈りが実施され、うるち米やもち米、飼料用米、酒米、ホールクロップサイレージが収穫されました。

これらは、11月中旬までに全量全袋検査等の県が定めるモニタリング検査を完了し、全て放射性物質濃度が検出限界値未満であったため、主食用米のほとんど及び飼料用米の全量がJAに出荷されています。

村内で生産された野菜などのうち、11月中旬までに県の緊急時モニタリング検査を受検したものは、生産農家28件で延べ118検体、70品目にのぼっており、この他、村の非破壊式測定器等で自主検査をした約1000検体のうち約450検体の野菜類は、そのいずれについても食品放射能基準である1キロあたり100ベクレルを大きく下回っており、自家消費分を除く野菜類の一部が「道の駅までい館」で販売されています。

鳥獣被害対策関係

鳥獣被害対策実施隊20人により、4月から11月中旬までに、イノシシ392頭、サル9頭の駆除を実施しました。また、村内で農業に携わる方の圃場については、ご希望に応じて順次、電気柵やサル対策用フェンスの導入を進めています。

いたてプレミアム付商品券

県の事業再開・帰還促進事業の交付金を受け、7月1日からいたてプレミアム付商品券を販売しています。10月末までに、村民や村内事業所に勤務している方に9282冊を購入いただきました。また、この交付金を活用して10月27日には交流センターふれ愛館で、村商工会がいたて秋祭りを開催しました。

宿泊体験館「まじろ」

4月から10月末までの全体利用客数は5507人で、うち宿泊利用者が1847人となっています。村内はもちろん村外からも多くの皆さんにご利用をいただいています。

学校教育関係

10月23日に第3回目となる義務教育学校開校準備委員会を開催しました。会議では、県に提出した義務教育学校の設置協議書に対し、県より10月7日付受理した旨の回答書をいただいた件をはじめ、校歌作成などの開校に向けた準備の進捗状況について、報告、協議を行いました。進捗状況は概ね予定どおりですが、今後も準備委員会や説明会を開催しながら、開校までに必要な準備を進めていきます。

生涯学習関係

10月26日、27日には、第36回いたて村文化祭を開催しました。今年の文化祭は総合文化展を、いたてっ子発表会「赤蜻祭」と同会場の中学校体育館で開催し、ステージ発表は、いたて秋まつりと同会場の交流センターで実施しました。当日は、780点を超える作品展示と小学生、中学生を含む、村内外の各種団体による舞台発表があり、1000名を超える村民が来場しました。



新 鈴木みつ子 (深谷)



佐藤美津子 (草野)



菅野 清 (草野)



大渡正子 (草野)

※敬称略・カッコ内は担当区
委員の皆さんを紹介します。

令和元年12月1日、厚生労働大臣の委嘱を受け、民生・児童委員の新たな任期が始まりました。任期は、令和4年11月30日までの3年間です。民生・児童委員は、住民の見守りや支援を行い、地域福祉の推進を担います。また、行政機関の業務に対する協力も、職務のひとつとなっています。



菅野正美 (佐須)



佐藤春雄 (大倉)



大和田保男 (八木沢・芦原)



村松礼子 (小宮)



松原光年 (小宮)



長井栄子 (関沢)



庄司紀男 (伊丹沢)



佐藤正勝 (上飯樋)



齋藤ちか子 (大久保・外内)



渡邊勝義 (前田・八和木)



佐野 一 (前田・八和木)



渡邊茂與 (飯樋町)



今野征美 (飯樋町)



新 北原康子 (宮内)



三坂二三子 (臼石)



高橋悦子 (関根・松塚)



新 新妻幹男 (蕨平)



鳴原良友 (長泥)



新 佐藤まき子 (比曽)



菅野鶴夫 (比曽)



松井なつ子 (上飯樋)



佐藤かをる (主任児童委員)



新 高橋仁子 (主任児童委員)



佐藤路也 (二枚橋・須萱)



伊藤美智子 (前田)

民生・児童委員の皆さんは、地域住民の福祉の相談役です。どうぞよろしくお願いたします。

12月13日、菅野カツイさんの賀寿が自宅で行われました。当日は、お孫さんから花束が渡されると笑顔で喜ぶ姿が見られました。菅野さんは、子ども9人、孫20人に恵まれました。若いころは畑仕事で汗をかき、嫌いな食べ物は何もなく、お酒（特に日本酒）もよく飲んでいたそうです。

菅野カツイさん (比曽)



百歳賀寿

100歳おめでとうございます

12月に、お二人の方が100歳を迎えられました。それぞれの誕生日に、家族と、村・県の関係者などが集まり、賀寿の祝いを行いました。



市澤ウメヨさん (前田)

12月15日、市澤ウメヨさんの賀寿が、入所する施設で行われ、施設の職員さんが手作りの飾り付けてお祝いしました。市澤さんは、子ども3人、孫9人に恵まれ、夏は畑仕事、冬は編み物を楽しんでいたそうです。家族が印象に残っているのは、ウメヨさんの手。家族のために、指に絆創膏を貼ってまで仕事をする働き者でした。

教育目標 竹のようにしなやかに、すくすくと



「生きる力」を育む **知** 確かな学力の育成 **徳** 豊かな心の育成 **体** 健やかな体の育成

徳 豊かな心の育成

義務教育学校のメリットを生かす③

★学年縦割り活動の充実

- 全学年が一緒に活動する機会を充実させることで、思いやりの心やあこがれ・目標を持つことができるようにします。
- 全学年で運動会や学習発表会(文化祭)などの行事に取り組むことで、一つの学校としての意識の高揚と一体感を育みます。

合同運動会の様子



学年の枠を越えて互いの絆を深めます!

心の教育の充実

- 児童生徒や家庭・地域の実態を踏まえて「特別の教科 道徳」の授業を行い、友達と話し合う活動等を通して、内面に根ざした道徳的判断力を育成します。また、ふるさとの教材を積極的に授業で取り扱います。
- 「あたりまえをありがたいと思う日」を通して、ふるさとへの思いと感謝の気持ちを育みます。

道徳教材「命のおにぎり」



強い心と思いやりの気持ちを育みます

組織的・体系的な生徒指導

- 全職員で組織的に「いじめ」「不登校」の未然防止と早期発見・対応に努めます。また、スクールカウンセラー等関係機関との連携を密接に図ります。
- 9年間を通した体系的な生徒指導の充実を図り、温かな集団の中でどの子どもも集団の一員として安心して学校生活を送れるようにします。
- 家庭と連携し、適正なメディアコントロールを進めていきます。



生徒指導の充実を図ります!

芸術・文化教育の推進

- 芸術教育・花育・木育等の活動を通して表現・鑑賞能力の伸張と豊かな感性の育成に努めます。
- 外部講師を積極的に招聘し、ふるさと飯館村の文化や伝統を尊重する態度を育成します。

豊かな感性を育みます!

いせひでこ先生(右端)による絵画教室



校章デザイン決定! 教育内容の概要も 連載でお伝えします



12月5日、第4回義務教育学校開校準備委員会が開催され、新しい学校の校章デザインが決定されました。

準備委員会では、草野・飯樋・白石小学校及び飯館中学校の閉校式と新しい学校の開校式などについても協議を進めています。



校章にこめた意味と思い

- 村に一つの義務教育学校であることから、「村の形」を背景にした。
- 緑色は、「命」や「新緑」の色。
春の新緑が美しい飯館村における「冬の厳しさからの開校」も意味する。
- 新しい学び舎(「学」の字)を中心に配置した。
「学」の字源には、両手で抱える意を含む。子どもたちを先生の両手が抱き上げるイメージ。
また、両手(真手)は村の「までい」にもつながる。
- 「学」の両側に、「子どもたちや村民、先生が寄り添う姿」を表現。
- 「i」は、人の頭と体を表わすとともに、「iitate」の頭文字。
- さらに、人と人(前期課程=小学生、後期課程=中学生)のつながりを感じさせる、また交わらせるなどをイメージ。
- 上部の「●●●●●」は統合される小中学校4校及び「希望の星」を表現。
また、色の変化は、それぞれの旧小中学校や子どもの成長を表わす意味のグラデーション。
- 全体のデザインを通して、飯館村の小中学校4校が新しい学び舎で、人と人(子どもたち、先生、村民、村民以外の方々)が寄り添いながら、村の希望の星である子どもたちを育むイメージを表現。

**地域サロンを
応援します
村地域包括支援センター**

飯館村地域包括支援センターでは、地域のサロンやミニデイの開催を支援しています。「栄養教室」「百歳体操」などを取り入れた活動には、講師や職員の派遣も行っています。どうぞお気軽にご相談ください。

問 飯館村地域包括支援センター
☎ 0244-42-1626

栄養教室 草野行政区の皆さんと

12月3日、草野集会所で、地区の皆さんを対象に、村地域包括支援センターが、「低栄養予防教室」を開きました。この日のテーマは、栄養価の高い牛乳を和食に取り入れた「乳和食(にゅうわしょく)」。



村の栄養士が、実演をしながら講話を行いました。その後は、グループに分かれて分担し、実際に「乳和食」の調理を体験。「乳清玄米あずきごはん」「まぐろのチーズ山かけ」「ほうれん草とじゃこのチーズ白和え」など5品をつかって、皆で味わいました。



帰村した人も、村外に暮らす人も、移住してきた人も参加して、一緒に料理を楽しみました。健康によい食事に対する参加者の関心は高く、栄養士の講話に熱心に耳を傾けていました。男性の参加も多く、調理作業に積極的に取り組んでいたのが印象的でした。調理や会食をしながらの交流も楽しく続いて、充実した活動となりました。**※地区のサロンなどで栄養教室を開きたい場合は、ぜひご相談ください。**

百歳体操 サポーター養成講座

12月12日、交流センター「ふれ愛館」で、社会医療法人秀公会の理学療法士を講師に招き、「百歳体操サポーター養成講座」を開きました。「百歳体操」は、筋力やバランス能力を向上させる体操で、体力に合わせて重りを使い効果を高めます。また、DVDを見ながらできるので、コツをつかめば、どなたでもすぐに取り組めます。地区のサロンやミニデイ、有志の活動などに取り入れてみませんか。



11月25日、日本の音楽の魅力を海外に伝えている団体「ミュージック・フロム・ジャパン」(三浦尚之理事長)が、草野・飯樋・白石小学校、飯館中学校で、特別授業を行いました。今年のテーマは沖縄音楽。児童・生徒が、舞踊団「結華(ゆいばな)」などの指導を受け、沖縄の太鼓「パーランクー」や沖縄舞踊をいきいきと体験しました。

12月5日、「までいの里のこども園」で、深谷有志の会と農協、PTA役員の協力のもと、もちつき会が開かれ、園児が一足早いお正月気分を味わいました。園児は、蒸かしたもち米を食べた後、元気いっぱい「ぺったん、ぺったん」ともちつきを応援! つきたてのもちもおいしそうにほおぼっていました。



12月17日には、おたのしみ会が開かれました。子ども達は、クリスマスの歌「ジングルベル」に合わせてダンスを踊ったり、先生達によるハンドベルの演奏を聴いたりして楽しみました。そして、待ちに待ったサンタクロースが登場すると、大きな歓声が。園児は、プレゼントをうれしそうに受け取っていました。



12月19日には、小学校で、「笑育」の発表会が行われました。松竹芸能の人気漫才コンビが、ユーモアたっぷりに児童を直接指導! 3・4年生はプロとの掛け合いで、5・6年生は児童同士がコンビを組んで、自作のネタを個性豊かに発表しました。子ども達は「笑育」の漫才体験を通して、人前で話す勇気や、人を傷つけない笑いの素晴らしさなどを学んでいます。

人権作文コンテスト福島県大会で、飯館中学校3年の菅野沙菜さんが奨励賞を受賞。12月19日、福島地方法務局相馬支局の大竹健司支局長と村の人権擁護委員が中学校を訪れ、表彰式を行いました。菅野さん(写真中央)は、介護現場の虐待の問題などを取り上げ、高齢者の人権をテーマに作文を書きました。また、中学校には人権教育に対する感謝状が贈られました。



日本郵便と包括連携協定 地域の活性化に協力を強化



署名を終えた協定書を手し、握手を交わす菅野村長（左）と古屋支社長

村と日本郵便株式会社が包括連携協定を結びました。締結式は、12月2日、村役場で行われ、菅野村長と古屋正昭東北支社長が、協定書に署名しました。この協定は、日本郵便が、全国の自治体を対象に締結を進めていて、防災・福祉・教育などの分野で連携し、相互に地域活性化や住民サービスの向上に取り組むものです。菅野村長は、「全国を網羅する組織との連携は心強くありがたい。情報網が大切な時代にあり、その面でも期待が大きい」と今後の運用に期待を寄せました。

スポーツを通して国際交流も！ バドミントン交流会



参加者の記念撮影。バドミントンのゲームを楽しむ中で、笑顔の交流が自然に広がりました

「いいいてスポーツクラブ」（大澤和巳代表／上飯樋）が、11月24日、飯舘中学校体育館で、第7回バドミントン交流会を開催。小学生から大人まで36人が参加して、経験者も未経験者も一緒に、男女ダブルス、シングルのゲームを楽しみました。ゲームは、息の合った好プレーや珍プレーで盛り上がり、コートサイドの応援にも力が入りました。今回は、村の企業に研修に来ているフィリピンの方や村外の方も多数参加。バドミントンを通して、国を超えた交流が和気あいあいと広がりました。



ジャズ・クリスマス・コンサート ジャズが彩った冬の1日

自主文化事業「ジャズ・クリスマス・コンサート」が、12月7日、交流センター「ふれ愛館」で開かれました。はじめに福島高校ジャズ研究部がフレッシュな演奏を披露し、人気の女性アルトサックス・プレイヤー吉野ミユキさんが、クリスマス・メドレーなど5曲を披露。表現豊かな演奏が、約100人の聴衆を魅了しました。アンコールでは、吉野さんのバンドに福高ジャズ研のメンバーも加わって、ジャズの名曲「A列車で行こう」を演奏。会場も手拍子で盛り上がり、楽しい冬の1日を過ごしました。

(上)アルトサックス奏者の吉野ミユキさんのステージ
(左)福高ジャズ研も加わり盛り上がったアンコール

今年もにぎわいました 松竹梅の寄せ植え講座を開催



先生の楽しい指導と充実した内容が好評で連続開催している講座です

11月26日、交流センター「ふれ愛館」で、樹木医の鈴木俊行先生を講師に、生涯学習事業「松竹梅の寄せ植え教室」を開催しました。今年は紅梅を主役に、オカメ南天、五葉松、福寿草などを配置する寄せ植えです。植えていく際の向きの決め方などを教わり、先生の作品を手本に、受講生がそれぞれの寄せ植えに挑戦しました。最後に先生の手直しを受けて、素晴らしい寄せ植えを完成させた皆さん。今後の管理も教わり、「咲くのが楽しみだね」と言葉を交わしていました。

年末年始を安心・安全に 指導隊が街頭キャンペーン



道の駅で行われた出発式であいさつする菅野村長。式に続いて、街頭キャンペーンがスタートしました

12月16日、飯舘村防犯指導隊（菅野敬隊長／関根・松塚）と、村の交通安全関係団体が、年末年始の防犯、交通事故防止の街頭キャンペーンをそれぞれ行いました。出発式では、菅野村長があいさつし「安心して暮らせる村にするには、村民の力が不可欠」と隊の活動を激励しました。防犯指導隊は、村内企業を訪問し、防犯意識を高めました。交通安全関係団体の皆さんは「いいいて村の道の駅までい館」で、来館者にキャンペーングッズを配布し交通安全を呼びかけました。

スマート農業・畜産業技術の 最新情報を共有しました



先進事例の報告も行われました。一元管理システム導入の効果について話す佐藤さん（檀上右端）

11月29日、交流センター「ふれ愛館」で、県と、福島イノベーション・コースト構想推進機構による「スマート農業・畜産業技術体験フェア」が開催され、研究機関や関連企業が展示やプレゼンテーションを行いました。先進事例の報告では、県の一元管理システムの実証に協力した畜産家・佐藤一郎さん（大倉）、復興農場を経て現在は「フェリスラテ」代表の酪農家・田中一正さん（長泥）が登壇。講話の中で、復興を牽引した熱い思いや、支援の恩に応える社会貢献活動にも触れ、来場者の共感を集めていました。

その
ところはっ
教えてください
そのワケを
#8



12月7日に深谷住宅のト
レーラーハウスで開いた
「モチヨルバル」&「ブ
ルーボックスギャラリー」

試験的に制作
販売したポス
トカード



地域おこし協力隊 松本奈々さん
深谷

飯館村地域おこし協力隊の松本奈々さん。村に移住し、移住相談室の業務に協力しながら、発信や交流の活動を行っています。奈々さんは、村の人と村外の人、あるいは移住者同士がワイワイと交流できる「モチヨルバル」を、ちよくちよく開催。インスタグラムや動画で、村の魅力の発信も行っています。この秋は、福島放送主催「ふるさとCM大賞」に出品する村のCMの企画・制作にも携わりました（結果は次のページで！）。次々にアイデアを実行し、村の

人をワクワクさせてくれる奈々さん。村のよさや「までいライフ」の魅力を、多言語で、海外にも発信したいと考えています（すでに英語での発信は進んでいます）。「関心を持った人が、さらに自分で調べたり、実際に足を運んだりすることに繋がれば」。奈々さんのアンテナがとらえた村の魅力を、皆さんもぜひぜひのぞいてみてください。動画は村HPの「移住・定住ポータルサイト」にリンクがあります。Instagramグラムは左下のQRコードから。

話題の
パレット

身近な話題を
お寄せください
☎0244-42-1613

「大倉秋祭り」で集会所に集まった皆さん。「これから皆でガニマキつくるぞ〜！」の笑顔です。



11月17日、大倉行政区が開いた秋祭り。グラウンド・ゴルフを楽しみ、郷土料理「ガニマキ」を皆でつくって味わいました。完成したガニマキは、旨味がギュギュッとつまった懐かしい味！大好評でした。



新潟産のモズガニを取り寄せました。ミソを取り出し、カラと身をすりつぶし、手間も楽しんでガニマキづくり♡

村民の不安や思いを伝えたいと、団体の活動終了後も発行を続けてきました。心に響くテーマが見つければまた発行したいです。



国立国会図書館は、国内外の資料・情報を広く収集・保存していて村の広報物なども収集されています。

国立国会図書館には、かわら版「負けねど飯館!!」倉庫1号から収集されるそうです

渡邊富士男さん(飯樋町)発行の「ふるさと飯館!!新かわら版」が国立国会図書館に收藏されます。震災後に活動していた「負けねど飯館!!」の会報を引き継ぎ、個人で編集・発行活動を行ってきました。

夕方6時からなので仕事帰りの人も参加してにぎやかに。楽しいおしゃべりも元気の素!



会では「までいな心の復興事業」を活用して、村に戻った人が元気で暮らせるよう、さまざまな活動を行っています。食の安全への取り組みや、多彩な交流事業、視察研修なども行っています。

ピラティスの講習は官谷理恵さん(福島市)を講師に「いいたてスポーツ公園」で月2回続けてきました。



「ふるさと飯館で自分らしく生きよう会」(菅野クニ会長/宮内)が活動の一環で行ってきた「ピラティス」の講習会。12月で最終回を迎えましたが、活動を通して温かな交流が育まれました。

宝くじの助成金を活用して
備品を購入しました!

● 深谷集会所 ●

村では、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業による宝くじの助成金を活用して、地域活動の活性化に必要な備品を整備しています。今年度は、深谷行政区が助成を受けて、左記の備品を購入いたしました。購入した備品は、今後、行政区の活動やイベント等で活用され、村民同士の交流に生かされます。



- 宝くじ助成金で整備した備品
- 折りたたみ椅子 60脚
- 折りたたみテーブル 20台
- 冷蔵庫 1台 など



入札結果をお知らせします

入札日／11月8日(単位：円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
佐須大倉線外災害査定測量設計業務	8,415,000円	(株)東コンサルタント 相双事業所	令和2年3月下旬
百目木比曾線外災害査定測量設計業務	6,710,000円	(株)福建コンサルタント	令和2年3月下旬
林道災害査定測量設計業務	2,200,000円	(有)御堂測量設計事務所	令和2年1月下旬
農地等災害復旧測量設計業務(前田字古今明地内)	8,690,000円	(有)御堂測量設計事務所	令和2年1月下旬
農地等災害復旧測量設計業務(飯樋字八和木地内)	9,218,000円	(有)武藤測量事務所	令和2年1月下旬
小滝大倉線災害地質調査業務	13,750,000円	庄建技術(株)	令和2年3月下旬
飯樋小学校校舎切り離し工事	2,288,000円	斎藤運輸工業(株)	令和2年2月下旬

入札日／11月18日(単位：円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
いいたてクリニック駐車場舗装工事	12,848,000円	濱田建設工業(株)	令和2年3月下旬
学校施設空調設備保守点検業務	3,520,000円	文化設備工業(株)	令和2年3月下旬
飯樋小学校解体に伴う切り回し工事	1,100,000円	(有)長谷川電気工事	令和2年2月下旬
ふくしま森林再生事業年度別事業実施計画作成業務	15,840,000円	(公益社)福島県森林・林業・緑化協会	令和2年3月下旬
(株)菊池製作所敷地土壌汚染(地歴)調査業務	2,090,000円	庄建技術(株)	令和2年1月下旬
大倉浄水場井戸水源調査業務	3,630,000円	庄建技術(株)	令和2年3月下旬
飯館村活性化施設(いちばん館)機能回復工事(追加工事)	6,490,000円	庄司建設工業(株)	令和2年3月下旬
飯館村活性化施設(いちばん館)機械設備目隠フェンス取付他工事	2,035,000円	庄司建設工業(株)	令和2年3月下旬
災害関連農村生活環境施設復旧事業・福島再生加速化交付金事業農村集落排水管路工事	46,750,000円	荏原実業(株)東北営業所	令和2年3月下旬
農業基盤整備促進事業(飯館西部その2)路線測量、地質調査業務	6,600,000円	(有)武藤測量事務所	令和2年3月下旬
災害復旧測量設計業務(伊丹沢字山田地内)	2,640,000円	(株)船橋コンサルタント	令和2年3月下旬
小滝大倉線災害査定測量業務	4,675,000円	(有)大内測量設計事務所	令和2年3月下旬
小滝大倉線災害査定測量設計業務	10,120,000円	日本工営(株)福島事務所	令和2年3月下旬
災害関連農村生活環境施設復旧事業 大倉宮農飲雑用水配水管復旧設計業務	2,640,000円	(株)東亜コンサルタント	令和2年3月下旬
地域インターネット機器更改業務	4,950,000円	東日本電信電話(株)宮城事業部福島支店	令和2年3月下旬
飯館村義務教育学校新設に伴う例規整備支援業務	2,607,000円	(株)ぎょうせい	令和2年3月下旬
ホストタウン記念切手制作業務	1,260,600円	(株)郵便局物販サービス	令和2年1月下旬



お知らせ

祝 CM大賞2019 村のCMが県知事賞を受賞!



CMで使用した「たて」を披露する高橋さん(中央)。村章入りの「たて」は一閑張で、松本さん(右から2人目)が製作しました。CMで共演した村職員の木幡は左から2人目。息ぴったりの演技をぜひご覧ください。

福島放送主催の「CM大賞2019」の表彰式が、12月8日、「郡山ユラックス熱海」で行われ、県内各市町村の出品の中から、飯館村のCMが、全体の2位にあたる福島県知事賞を受賞しました。CMは、1月11日に、表彰式の模様をテレビ放送となった後、年内に50回放送される他、福島放送ホームページでは全作品が公開されます。村のCMは、地域おこし協力隊の松本奈々さん(深谷)が製作を担当し、高橋松一さん(二枚橋・須萱)、村総務課企画係の木幡貴彦が出演しています(面白いです、お楽しみに!)。

12月の村の動きと主なできごと

- 1日・上飯館行政区 農地中間管理事業調印式(上飯館集会所)
- 2日・民生児童委員委嘱状伝達式(村役場)
- ・村と日本郵便株式会社との包括連携協定 締結式(村役場)
- ・総合教育会議(村役場)
- 5日・第4回義務教育学校開校準備委員会(村役場)
- 7日・自主文化事業 ジャズ・クリスマス・コンサート(交流センター「ふれ愛館」)
- ・「いいたてルミナリエ」2019点灯式&こども映画まつり(交流センター「ふれ愛館」)
- 8日・福島放送CM大賞 福島県知事賞受賞(郡山ユラックス熱海)
- ・深谷行政区作付再開計画等説明会(深谷集会所)
- 9日・福島医大公衆衛生学公開講座inいいたて(交流センター「ふれ愛館」)
- 13日・菅野カツイさん(比曾) 百歳賀寿(比曾地区)
- 13日・20日・12月議会定例会(村役場議場)
- 14日・第6次総合振興計画 地域別懇談会(交流センター「ふれ愛館」)
- 15日・市澤ウメヨさん(前田) 百歳賀寿(伊達市・孝の郷)
- 19日・第20回読書メッセージコンテスト表彰式(相馬農業高校飯館校)
- 20日・第12回農業委員会定例総会(村役場)
- 21日・第6次総合振興計画 地域別懇談会(交流センター「ふれ愛館」)
- 23日・第20回読書メッセージコンテスト表彰式(草野・飯樋・白石小学校/飯館中学校)

飯館流 働き方改革

こころのぽけっと

正月でするので、ちょっとくだけた話でごめんなさい。「給料が足りない」「上司の能力が足りない」「妻の愛情が足りない」：「足りない、足りない」とよく聞く言葉です。ちょっと欲張り過ぎるのかもしれない。人間、欲を張ってろくなことはないはず。ストレスがたまり、免疫力を低下させ、病気になるとも言われています。つまり「欲張りは早死にの元(もと)」なのかもしれません。こんな話を聞いたことがあります。「これがあれば、一生食べていくのに困らないものはなんですか？」という「なぜなぜ」です。答えは「お箸」です。外国人なら「ナイフ」と「フォーク」かもしれません。では、「これがあれば、一生幸せに生きていけるものはなんですか？」これは、「笑うこと」だという話です。あれこれ不満があったり、不自由を感じたりすることがあったとしても、仲間たちと、あるいは妻や子どもたちと冗談を言い合って「笑える時」を多くしていくことが「幸せ」をつかむコツだという話です。また、ある人は、「腹を抱えて、大笑いできるのは、金がある時だけだ」と。そうかもしれません。でも、お金持ちの方はきつと、「腹を抱えて大笑いできるのは、金がない時だけだ」というかもしれません。「やれ税金だ、相続だ、この人は私の金を狙っているのではなにか」と。喜劇王チャップリンは、「生きていくためのお金は必要だが、それはほどのお金でいい」と言ったとか。何ごとにも「ほどほど」が大切なかもしれません。笑い過ぎればシャッキリが出て、お腹が痛くなる。また、声を出さずに笑えば、笑った気がしない。ほどほどに笑うことが大切だが、笑いのない人生は味気ない。「笑って生きていくために、今年もしっかり働こう」これを飯館村の「働き方改革」にしようではありませんか。

令和元年12月6日 飯館村長 菅野 典雄

移住定住交流 推進対策室

きてみて

e-ライフセンター

「移住定住交流推進対策室」の愛称は「e-ライフセンター」。「移住相談室」とも呼ばれています。平成29年6月に、村役場の隣り「ビレッジハウス美園杜(みいと)」内に設置され、移住に関連する幅広い業務を行っています。



飯館村伊丹沢字伊丹沢580番地1
☎0244-42-0310
✉ iju-sodan@vill.iitate.fukushima.jp

「ふるさと住民」「空き家バンク」の窓口もこちらです。気軽にお問い合わせを。

ふるさと住民：村に興味・関心のある方に登録いただき「ふるさと住民票」のカードを発行しています。

「ふるさと住民」の皆さんに来村いただいたツアーのひとつコマ。

地域おこし協力隊と共同で開催した移住者同士の交流会。



上田和昌さんの

ラオス通信。

vol.8

ラオスの小学校のこと

東京オリンピック・パラリンピック2020で村が「復興『ありがとう』ホストタウン」を務めるラオスってどんな国？上田さんのレポートで素朴な疑問に応えます。きっとラオスが身近になりますよ！

上田さんは山梨県の出身。ラオス国立大学で活動する青年海外協力隊の隊員です。



ラオスの小学校は、教員の質や、勉強する環境の質など、まだまだ改善しなければならぬことが多くありますが、そんな中でも、子ども達はのびのびと生活しているように感じます。休み時間には、サッカー、コマ遊び、ゴム跳び、ビー玉遊びなどをして、子どもが多く、また、売店でお菓子を買って食べていたりもします。ラオスの小学校には「キャンティーン」という売店があり、子ども達は、お菓子やご飯を買って食べます。昼食も、給食がないので、親が迎えに来て家で食べるか、売店で買って食べるか、持って来たものを食べるかという感じ。お弁当だと、カオニャオ(蒸したもち米)とおかずと、いったような組み合わせで持って来ます。親が学校にご飯を持って来て一緒に食べることもできます。また、日本では当たり前の健康診断ですが、ラオスの小学校では、まだその制度が整っていません。保健室がなく、養護教諭(保健室の先生)もいないため、健康診断を行う場合は、担任の先生が実施しなければなりません。しかし、担任の先生も、日常の業務で手いっぱい。そこで、子ども達による保健委員会をつくり、健康診断を子ども達が実施するという取り組みも行われています。一方、ラオスの小学校には進級テストがあり、落第制度もあります。中にはテストに落ちて、中絶してなかなか進級できない小学生がいるのも、日本とは大きく違う所です。

学校に併設の売店「キャンティーン」



次回はラオスの古都「ルアンパбан」を紹介します！

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
佐藤 柁 蒼くん	正・薫	飯樋町
佐藤 凜 ちゃん	俊美・美香	二枚橋・須萱



すくすくと元気に育てね

結婚おめでとう

氏名	出身地
高野 龍 磨	白石
金 澤 由花利	伊丹沢

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
菅野 サ ツ	80	飯樋町
菅野 トシ子	91	宮内
古川 邦 男	86	飯樋町

ご冥福をお祈り申し上げます

(11月21日から12月15日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

ひとのうごき (令和元年11月30日現在)		11月1日~30日までの人口動態	
人口	今月 (前月比)	◆◆人口動態◆◆	
男	2739人 (+1)	転入	16人
女	2747人 (-7)	転出	22人
計	5486人 (-6)	出生	3人
世帯数	1831戸 (+6)	死亡	3人
			(住民基本台帳人口)

HOPES
ホープス セカンド
2nd

ものづくりで人をつなぎたい

飯館村地域おこし協力隊 二瓶 麻美さん



「刃物の館やすらぎ工房」の飯館工場
で刃物の製造に取り組む鍛冶職人・
二瓶貴大さんと結婚し、夫婦で村に移
住することになった麻美さん。12月に
村の地域おこし協力隊となりました。

「〴〵ものづくり〴〵を通して、
村に人を呼び込みたい」と地
域おこし協力隊の活動をス
タートした麻美さん。11月に
結婚したばかりで、鍛冶職人
の夫・貴大さんの仕事を手伝
いながら、新しい挑戦にも心
を踊らせます。

福島市に店舗を構える
「刃物の館やすらぎ工房」が
9月に飯館工場を開所。貴
大さんと村に通ううち、麻美
さんは「村の印象が変わった」



麻美さんが手がけた飯館工場のギャ
ラリーは、ほっこりくつろげる明る
い空間。「ここでワークショップやイ
ベントを」とアイデアを練っていま
す。「気軽に立ち寄っててください」

と言います。「飯館村は〴〵人
間。パワースポットだと思いま
す。人のエネルギーがすごい。
前向きで、常に相手のことを
思いやり、どうしたら楽しく
生活していけるかを考えてい
る。言葉にも力があるんで
す。村で暮らしている一人ひと
りが起業家のような」。

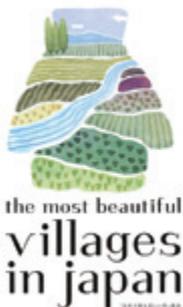
村の人との出会いに「思い
が駆り立てられた」麻美さん
は、「村の魅力を、もつと村外
の人に知ってもらいたい」と協
力隊に志願しました。「作り
手の顔が見える〴〵ものづくり
市〴〵を開いてみたいです。おい
しいパンやコーヒーも味わえる
ような」。そして、その実現に
向けて、多くの人とつながろ
うとしています。村で見かけ
た「布ぞうり」を作れる人も
探しているそう。「今は本当
にわくわくしています。村の
ことがもつと知りたい」。

※耳寄り情報は飯館工場まで
0244(42)0000

〈編集後記〉

● あけましておめでとうござ
います。昨年も村民の皆さん
に支えられ、広報活動を行う
ことができました。ご協力あ
りがとうございました。本年
もどうぞよろしくお願いいた
します。私ごとですが、今年
は年男。1枚でも良い写真、1つ
でも良い記事をお届けできる
ようにがんばりマウス。(木幡)

● 1年前にある方から「亥年
は転換期になりやすい。だけど
終わりは始まりだから。受け
止めて乗り越えて、生かすくら
いの気持ちでね」と言われまし
た。そして、それが予告であつた
かのように、平凡な人生なりの
起伏が続く1年になりました。
黙々と歩いてくるのが精一杯
だったなあ。立ち止まって、これ
までと今とこれからをギョツと
結び直して新しい年を始めよ
う、そんな気持ちです。(星)



飯館村は「日本で最
も美しい村」連合に
加盟しています。